

# 品質管理試験データ表及び管理図表

## 出来形管理図表

1	材料使用届 (I) (II)	11- 2, 3
2	工事主要材料使用総括表 (I) (II)	11- 4, 5
3	品質管理一覧表 (I) (II)	11- 6, 7
4	出来形管理一覧表 (I) (II)	11- 8, 9
5	出来形管理図表 (I) ~ (X)	11-10~19
6	混合物温度管理図	11-20
7	舗装路面の平坦性測定表	11-21
8	コア切取・厚さ・アスファルト量・密度試験結果表	11-22
9	コンクリートのスランプ及び空気量試験表	11-23
10	コンクリート圧縮強度試験管理図表 [I] [II]	11-24, 25
11	JIS A 1214 砂置換法による土の密度試験表	11-26
12	JIS A 1215 平板載荷試験表	11-27
13	JIS A 1102 骨材のふるい分け試験表	11-28
14	骨材試験成績表 C-40	11-29
15	骨材試験成績表 M-30	11-30
16	骨材試験成績表	11-31
17	突固めによる土の締固め試験表	11-32
18	土の液性限界・塑性限界試験表	11-33
19	C B R 試験表	11-34
20	アスファルト混合物 (抽出密度) 試験結果通知書	11-35
21	コンクリート圧縮強度試験結果通知書	11-36
22	出来形管理表 (I) (II)	11-37, 38
23	出来形管理図	11-39
24	コンクリート打設計画表・進行図	11-40

















# 出来形管理図表 (I)

工事番号  
工事名  
工事種

平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日

請負人  
担当者

測定項目	区分			測点			備考(略図等)
	設計値	測定値	差	設計値	測定値	差	
	SU						
	CL						
	SL						
	設計値						
	測定値						
	差						
	SU						
	CL						
	SL						
	設計値						
	測定値						
	差						
	SU						
	CL						
	SL						
	設計値						
	測定値						
	差						
	SU						
	CL						
	SL						
	設計値						
	測定値						
	差						
	SU						
	CL						
	SL						
	設計値						
	測定値						
	差						
	SU						
	CL						
	SL						
	設計値						
	測定値						
	差						

出来形管理図表 (II)

測定項目	区分		測点										備考(略図等)		
	設計値	測定値	差												
	SU														
	規格値	CL													
	SL														
	設計値														
	測定値														
	差														
	SU														
	規格値	CL													
	SL														
	設計値														
	測定値														
	差														
	SU														
	規格値	CL													
	SL														
	設計値														
	測定値														
	差														
	SU														
	規格値	CL													
	SL														
	設計値														
	測定値														
	差														
	SU														
	規格値	CL													
	SL														
	設計値														
	測定値														
	差														
	SU														
	規格値	CL													
	SL														
	設計値														
	測定値														
	差														

# 出来形管理図表 (Ⅲ)

工事番号 .....  
 工事名 .....  
 工事期 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日  
 工事種 名 管 路 掘 削  
 事務所名 .....  
 監督員 .....  
 監督員 .....  
 請負会社名 .....  
 測定者 .....

測 定 値	掘削高		点																					
	上 幅	下 幅		掘削高																				
掘削高と測定値の差	上限規格(SU)		±0																					
	規格中心(CL)																							
	下限規格値(SL)		-150																					
上幅スレ設計と測定値の差	上限規格(SU)		+150																					
	規格中心(CL)																							
	下限規格値(SL)		±0																					
下幅スレ設計と測定値の差	上限規格(SU)		+150																					
	規格中心(CL)																							
	下限規格値(SL)		±0																					
摘要 (注) 1. 測定値欄は、設計値は測定値との差を記入する。必要に応じ設計値又は測定値 2. 上限・下限規格値線は赤書とする。																								



# 出来形管理図表 (V)

工事番号	.....										
工事名	事務所名										
工 期	平成	年	月	日	～	平成	年	月	日	請負会社名	㊟
工 種	名	配	管							測 定 者	㊟
										監 督 員	㊟

測 点	土 被 り 高	長 さ (区 間)	中 心 線								
土被り高 設計と 測定値高 の差	上限規格(SU)	±0									
	規格中心(CL)										
中心線へ 設計と 測定値 の差	上限規格(SU)	+100									
	規格中心(CL)	±0									
測定値 の差	下限規格(SL)	-150									
	規格中心(CL)										
測定値 の差	下限規格(SL)	-100									
	規格中心(CL)										

摘要 (注) 1. 測定値欄は、設計値は測定値との差を記入する。必要に応じ設計値又は測定値  
 2. 上限・下限規格値線は赤書とする。



# 出来形管理図表 (VII)

工事番号 ..... 事務所名  
 工事名 ..... 監 督 員  
 工 期 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 ..... 請 負 会 社 名  
 工 種 名 鋼管溶接塗装 ..... 測 定 者

管径 (管厚)	名 称	法	管 体 番 号								備 考
内面 エポキシ 外面 アスフロン ルトビニロン ク ロ ス											内面の測定値は内面、外面の測定値は外面に記入する。
ホリデー テクター検査	内面	外面									
X線検査											等級を記入
溶接年月日	内面	外面									
塗装年月日	内面	外面									検査年月日を記入
厚	上規格 内面	±0.2 mm									測定値は最小値を
さ	上規格 外面	±0 mm									使用





出来形管理図表 (X)

管径(型, 種管)																		備考
名称																		
寸法																		
管体番号																		
胴体間隔 $b, b_1, b_2,$																	外面よりの 測定値 $b, b_1$ $b, b_1$ を記入, 内面よりの 測定値 $b_2$ を 各々記入する。	
接合年月日																		
接合確認者																		トルクレンチ の確認者

接合配管図

(注) 測定者とは胴体間隔の確認者をいう。

# 混合物温度管理図

工事番号		平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日	
工事名		測定者	
混合物の種類			
台数			
190			
180			
170			
160			
150			
140			
130			
120			
110			
100			
90			
温度			
発温度			
敷均し温度			
測定月日			

	最高	最低	平均
発温度			
敷均し温度			

## 舗装路面の平坦性測定

工事番号  
工事名

測定区間 \_\_\_\_\_ ~ \_\_\_\_\_

測定年月日 平成 年 月 日

測線の位置 \_\_\_\_\_

測定器の種類 3mプロフィールメータ

測定距離 \_\_\_\_\_

測定者 \_\_\_\_\_

No	d	d <sup>2</sup>	No	d	d <sup>2</sup>	No	d	d <sup>2</sup>	No	d	d <sup>2</sup>	No	d	d <sup>2</sup>
計	①	②	計	①	②	計	①	②	計	①	②	計	①	②
計	①	②	計	①	②	計	①	②	計	①	②	計	①	②
③	Σ①	(mm)					⑥	各シートのΣ③ (mm)				*		
④	Σ②	(mm <sup>2</sup> )					⑦	各シートのΣ④ (mm <sup>2</sup> )				*		
⑤	データ数						⑧	各シートのΣ⑤				*		
⑨	標準偏差	$\sqrt{((7-6)^2/(8)) / (8-1)}$ (mm)												
備考														
注) *印の欄は最後のデータシートのみ記入する。														

コア切取、厚さ・アスファルト量・密度試験結果表

工事番号		工事所名		請負人		工種名		合格判定値	
工事種別		監督者		測定者		合格判定値		合格判定値	
項目		基準値		測定値		平均値		合格判定値	
厚さ		mm		mm		mm		mm	
アスファルト量		%		%		%		%	
密度		g/cm <sup>3</sup>		g/cm <sup>3</sup>		g/cm <sup>3</sup>		g/cm <sup>3</sup>	
項目		測定値		設計値		測定値		設計値	
厚さ		mm		mm		mm		mm	
アスファルト量		%		%		%		%	
密度		g/cm <sup>3</sup>		g/cm <sup>3</sup>		g/cm <sup>3</sup>		g/cm <sup>3</sup>	

# コンクリートのスランプ及び空気量試験

工事番号 工事名		種類									
		工種					試験者				
スランプ	試験回数	回	最大値	CM %	最小値	CM %	平均値	CM %	規格値	CM %	
空気量	番号										
試験月日											
天候											
スランプ											
設計値の差											
+	3.0										
	2.0										
	1.5										
	1.0										
	0.5										
0											
	0.5										
	1.0										
	1.5										
	2.0										
	2.5										
	3.0										
-											
空気量											
設計値の差											
+	2.0										
	1.5										
	1.0										
	0.5										
0											
	0.5										
	1.0										
	1.5										
	2.0										
-											





## JIS A 1214 砂置換法による土の密度試験

受付年月日	平成 年 月 日	試験年月日	平成 年 月 日
工事番号			
工事名			
工種		試験者	
①試験用砂の密度	ロートとベアプレート	②ロートとベアプレートの体積を満たす砂の質量	
g/cm <sup>3</sup>	cm <sup>3</sup>	g	

### I. 試験孔から取出した湿潤・乾燥質量・含水比の測定

	1	2	3
測 点			
ma ③ (湿土)+(容器)質量 g			
mb ④ (乾土)+(容器)質量 g			
mc ⑤ 容 器 質 量 g			
ma-mc ⑥ 湿 土 質 量 ③-⑤ g			
ms ⑦ 乾 土 質 量 ④-⑤ g			
mw ⑧ 水 の 質 量 ⑥-⑦ g			
w ⑨ 含 水 比 ⑧/⑦*100 %			

### II. 試験孔の体積測定と土の密度

\* 現場で測定するもの

	1	2	3
*⑩測定器に砂を満たした質量 g			
*⑪測定器と残った砂の質量 g			
⑫試験孔とロートに入った砂の質量 ⑩-⑪ g			
⑬試験孔に入った砂の質量 ⑫-② g			
⑭試 験 孔 の 体 積 ⑬/① g/cm <sup>3</sup>			
⑮土の湿潤密度 ⑥/⑭ g/cm <sup>3</sup>			
⑯土の乾燥密度 ⑦/⑭ g/cm <sup>3</sup>			
締 め 固 め 度 ⑯/⑮*100 %			

平 均 値	⑰土の湿潤密度	$\rho_t =$	g/cm <sup>3</sup>
	⑱土の乾燥密度	$\rho_d =$	g/cm <sup>3</sup>
	⑲含 水 比	w =	%
	⑳最大乾燥密度 $\rho_{dmax}$		g/cm <sup>3</sup>
	締 め 固 め 度		%
	合 格 判 定 値		% 以上

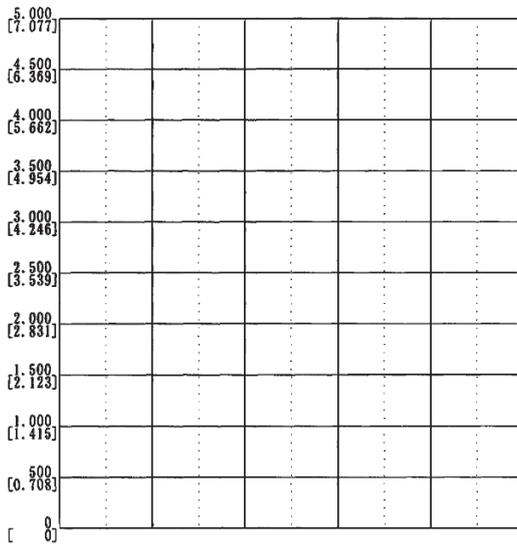
最大粒径	mm
------	----

備考

## JIS A 1215 平板載荷試験

工事番号				天候			
工事名				試験者			
測点				試験年月日	平成	年	月 日
工種				計算に用いた沈下量			
載荷板の直径	30	cm					
載荷板の面積	706.5	cm <sup>2</sup>					

全荷重 kgf	荷重強度 kgf/cm <sup>2</sup>	ダイヤルゲージの読み 1/100mm			沈下量 cm
		左	右	平均値	
0	0				
500	0.708				
1,000	1.415				
1,500	2.123				
2,000	2.831				
2,500	3.539				
3,000	4.246				
3,500	4.954				
4,000	5.662				
4,500	6.369				
5,000	7.077				



$$K_{30} = \frac{\text{荷重強度}}{\text{沈下量}}$$

$$K_{30} = \frac{\quad}{\quad} = \quad \text{kgf/cm}^3$$

(注)

下層路盤工

$$K_{30} = \frac{\text{荷重強度}}{\text{沈下量}} \geq 18 \text{ kgf/cm}^3 \quad (12)$$

( )は簡易舗装

備考

沈下量 (cm)



受付番号	
------	--

骨 材 試 験 成 績 表 報告用紙

受付年月日                      年 月 日	試験年月日                      年 月 日
----------------------------------	----------------------------------

工 事 名

工事場所

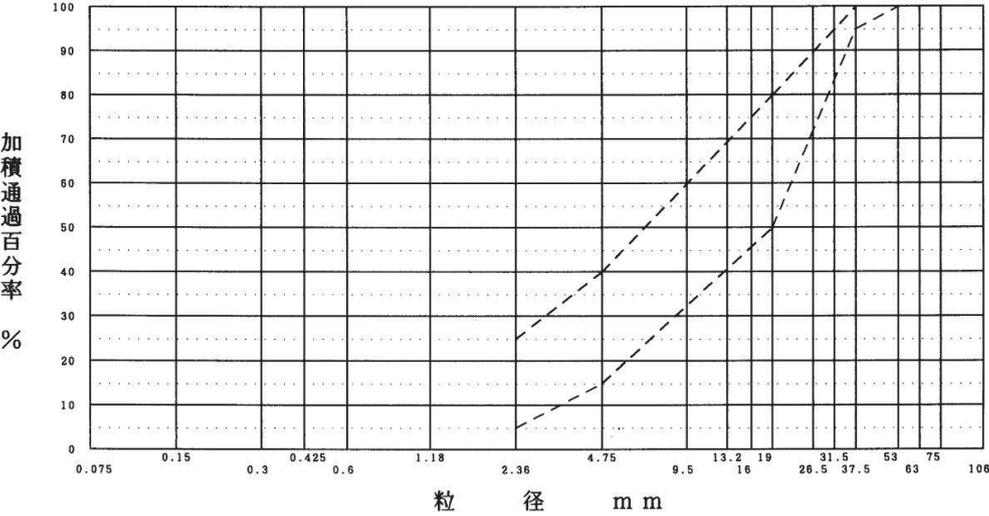
骨材種別      C-40	採取箇所
----------------	------

試験項目名	試験値
最適含水比 (%)	
最大乾燥密度 (g/cm <sup>3</sup> )	
修正CBR (%)	
塑性指数	

粒 径 mm	残 留 率 %	加積通過率 %
53		
37.5		
19		
4.75		
2.36		
>		
計		

摘要 ----- JIS粒度範囲

粒 度 曲 線



試験者

受付番号

骨 材 試 験 成 績 表

報告用紙

受付年月日

年 月 日

試験年月日

年 月 日

工 事 名

工事場所

骨材種別 M-30

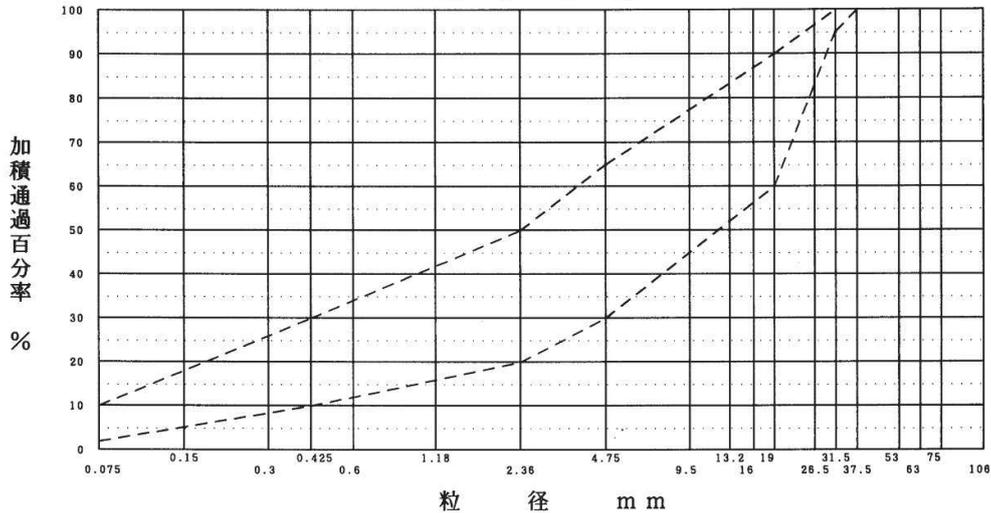
採取箇所

試験項目名	試験値
最適含水比 (%)	
最大乾燥密度 (g/cm <sup>3</sup> )	
修正CBR (%)	
塑性指数	

粒 径 mm	残 留 率 %	加 積 通 過 率 %
37.5		
31.5		
19		
4.75		
2.36		
0.425		
0.075		
>		
計		

摘要 ----- JIS粒度範囲

粒 度 曲 線



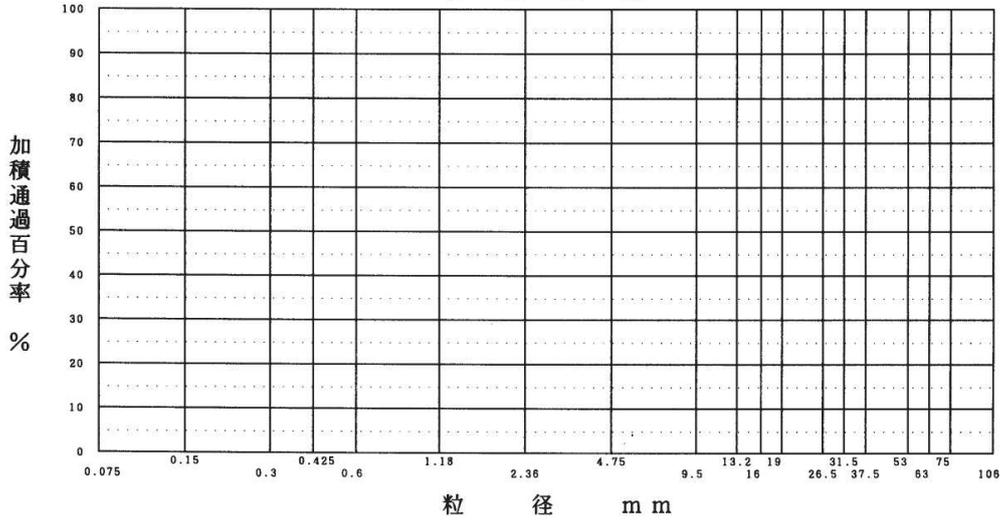
試験者

受付番号		
------	--	--

骨 材 試 験 成 績 表		報 告 用 紙
受 付 年 月 日	試 験 年 月 日	
工 事 名		
工 事 場 所		
骨 材 種 別	採 取 箇 所	

試 験 項 目 名	試 験 値	粒 径 mm	残 留 率 %	加 積 通 過 率 %
		計		

粒 度 曲 線



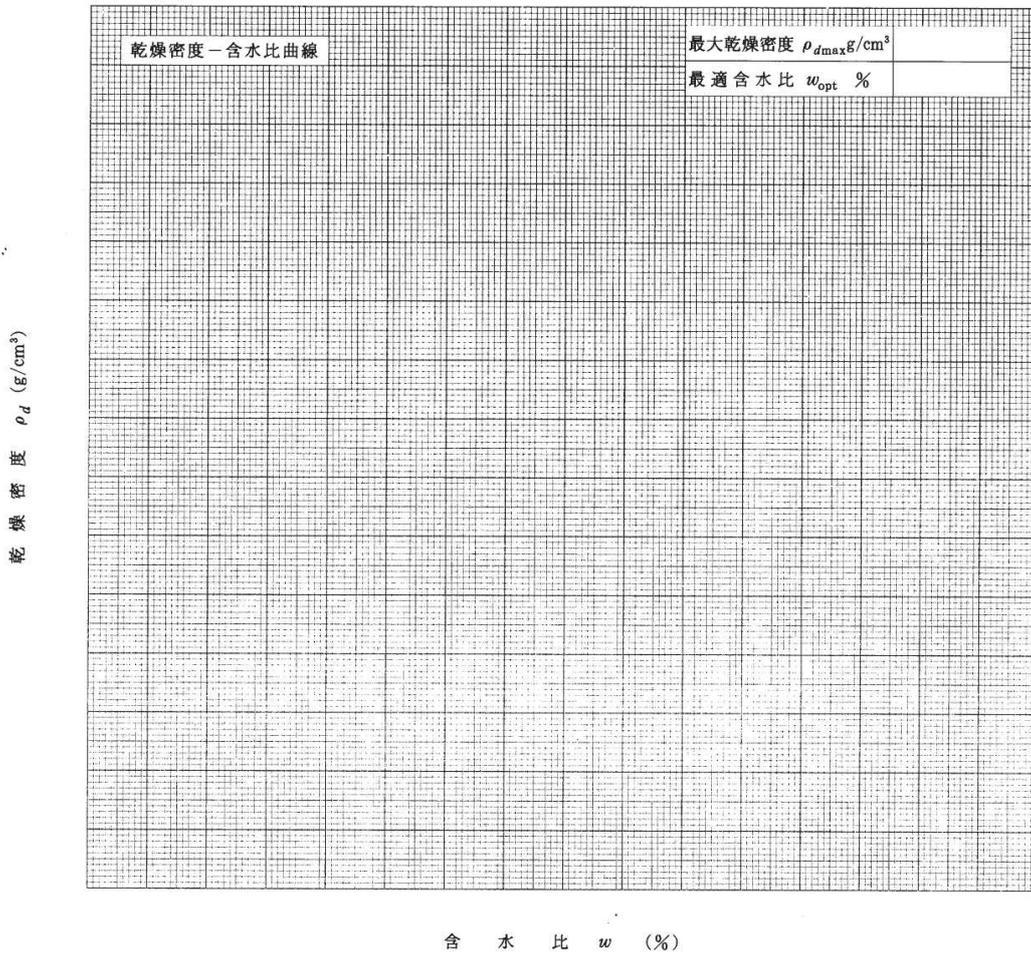
試 験 者	
-------	--

JIS A 1210 JGS T 711	突固めによる土の締固め試験 (締固め特性)	
-------------------------	-----------------------	--

調査件名 \_\_\_\_\_ 試験年月日 \_\_\_\_\_

試料番号 (深さ) \_\_\_\_\_ 試験者 \_\_\_\_\_

試験方法			土質名称					
試料の準備方法	乾燥法, 湿潤法		ランマー質量 kg		土粒子の密度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>			
試料の使用方法	繰返し法, 非繰返し法		落下高さ cm		試料調整前の最大粒径 mm			
含水比	試料分取後 $w_0$ %			突固め回数 回/層		モールド	内径 cm	
	乾燥処理後 $w_1$ %			突固め層数 層			高さ cm	
測定 No.	1	2	3	4	5	6	7	8
平均含水比 $w$ %								
乾燥密度 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>								



特記事項 \_\_\_\_\_

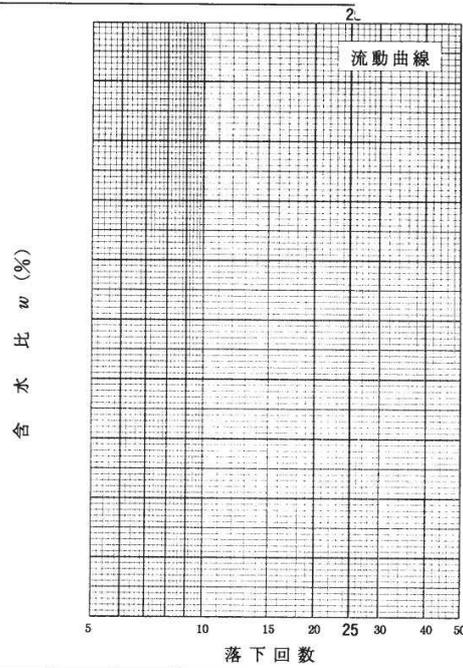
1) 内径15cmのモールドの場合はスペーサーディスクの高さを差引く。  
 ゼロ空気間隙曲線の計算式  

$$\rho_{dsat} = \frac{\rho_w}{\rho_w/\rho_s + w/100}$$

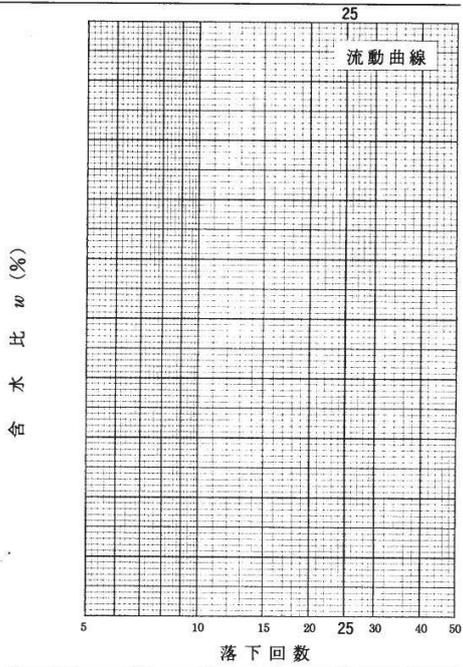
調査件名 \_\_\_\_\_ 試験年月日 \_\_\_\_\_

試験者 \_\_\_\_\_

試料番号(深さ)			
<b>液性限界試験</b>			
落下回数			
含	容器 No.		
水	$m_a$ g		
比	$m_b$ g		
	$m_c$ g		
	$w$ %		
落下回数			
含	容器 No.		
水	$m_a$ g		
比	$m_b$ g		
	$m_c$ g		
	$w$ %		
<b>塑性限界試験</b>			
含	容器 No.		
水	$m_a$ g		
比	$m_b$ g		
	$m_c$ g		
	$w$ %		
液性限界 $w_L$ %	塑性限界 $w_p$ %	塑性指数 $I_p$	



試料番号(深さ)			
<b>液性限界試験</b>			
落下回数			
含	容器 No.		
水	$m_a$ g		
比	$m_b$ g		
	$m_c$ g		
	$w$ %		
落下回数			
含	容器 No.		
水	$m_a$ g		
比	$m_b$ g		
	$m_c$ g		
	$w$ %		
<b>塑性限界試験</b>			
含	容器 No.		
水	$m_a$ g		
比	$m_b$ g		
	$m_c$ g		
	$w$ %		
液性限界 $w_L$ %	塑性限界 $w_p$ %	塑性指数 $I_p$	



特記事項 \_\_\_\_\_

受付番号	
------	--

<b>C B R 試験</b>		(乱した土の室内試験)		報告用紙							
受付年月日			試験年月日								
工事名											
工事場所											
採取箇所		<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">試料の含水比</td> <td style="text-align: right;">%</td> </tr> <tr> <td>67回3層の乾燥密度</td> <td style="text-align: right;">g/cm<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>67回3層のC B R</td> <td style="text-align: right;">%</td> </tr> </table>				試料の含水比	%	67回3層の乾燥密度	g/cm <sup>3</sup>	67回3層のC B R	%
試料の含水比	%										
67回3層の乾燥密度	g/cm <sup>3</sup>										
67回3層のC B R	%										
試料状態											
供試体作製											
突固め回数	湿潤+モールド質量 g	モールド質量 g	湿潤供試体質量 g	モールド体積 cm <sup>3</sup>	湿潤密度 $\rho_t$ g/cm <sup>3</sup>	乾燥密度 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>					
9 2回3層											
4 2回3層											
1 7回3層											
6 7回3層											
含水比測定											
	ma	mb	mc	w=	%	平均含水比 %					
	ma	mb	mc	w=	%						
貫入量 mm	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5	5.0	7.5				
荷重 kN	9 2回										
	4 2回										
	1 7回										
	6 7回										
C B R 標準荷重 kN											
C B R %	9 2回3層	4 2回3層	1 7回3層	6 7回3層							
	---	---	---	%							
備考											
					試験者						

財団法人 茨城県建設技術管理センター

受付番号	
------	--

第 号
平成 年 月 日
殿
財団法人 ○○○・・・・・・ 長
アスファルト混合物（抽出密度）試験結果通知書
( )

受付年月日	平成 年 月 日	試験年月日	平成 年 月 日
-------	----------	-------	----------

工事名	
-----	--

工事場所	
------	--

施工工種		混合所名	
------	--	------	--

採取箇所	項目	厚 さ 測 定 ( cm )			密 度 試 験 ( g / cm <sup>3</sup> )			抽 出 試 験 ( % )		
	層 名									
	種 類									
	基 準 値									
No.										
No.										
No.										
No.										
No.										
No.										
平 均 値										
差 及 び 締 固 度										

表示	種 類	備 考	
改20 I	ゴム入り密粒度20		
改20 II	樹脂入り密粒度20		
改20 III	ゴム+樹脂入り密粒度20		
改13 I	ゴム入り密粒度13		
改13 II	樹脂入り密粒度13		
改13 III	ゴム+樹脂入り密粒度13		
		試験者	

		受付番号								
発第 号 平成 年 月 日 殿 財団法人 <u>○○○・・・・・・・・・・</u> 長 JIS A 1108 コンクリート圧縮強度試験結果通知書 ( )										
受付年月日	平成	年	月	日	試験年月日	平成	年	月	日	
工事名										
工事場所										
配合				粗骨材			養生			
生コン工場名				打設年月日			平成	年	月	日
圧縮強度試験成績										
供試体番号	材齢(日)	見掛密度 (kg/m <sup>3</sup> )			強度 (N/mm <sup>2</sup> )			適要		
		No.1	No.2	No.3	No.1	No.2	No.3			
備考										
								試験者		







